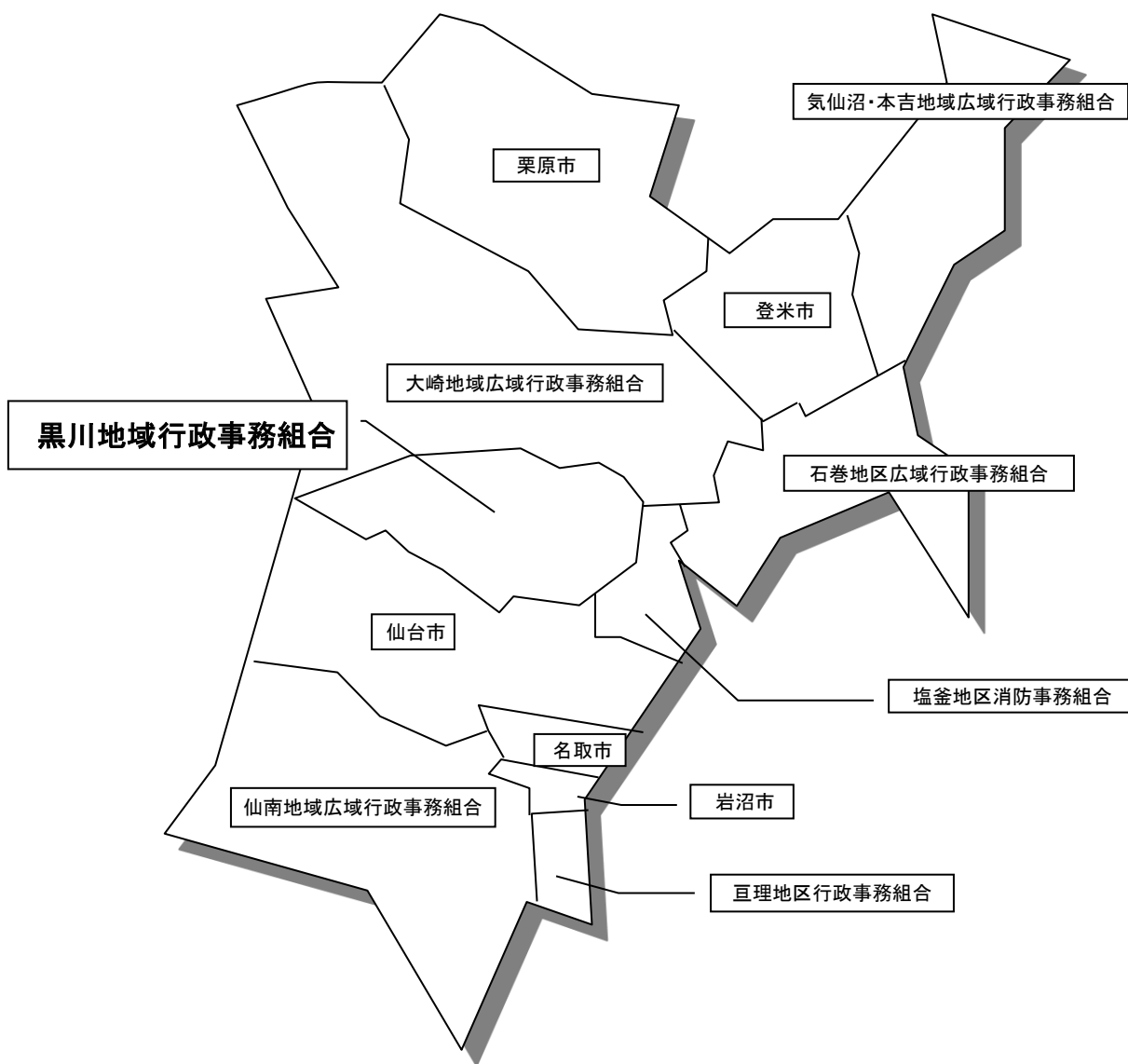


総務



中学生による職場体験（ロープ渡過訓練）

黒川地域行政事務組合管轄区域図

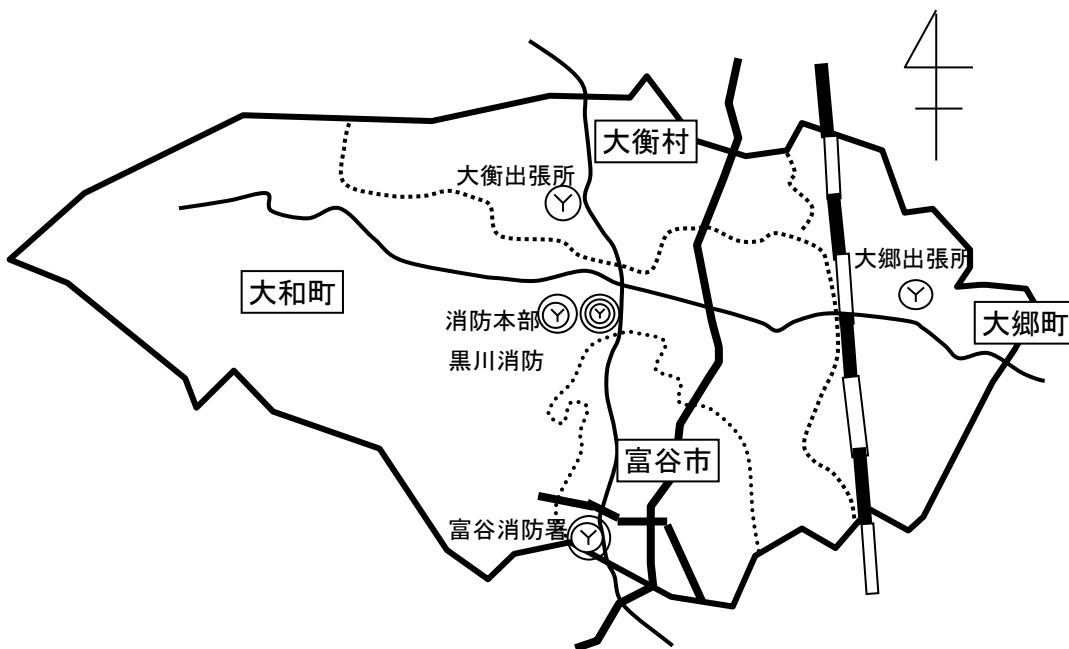


消 防 機 関 の 位 置

管 内 面 積 及 び 世 帯 数 ・ 人 口

(平成30年3月末現在)

区 分	面積 (km ²)	世帯数	人口 (人)
富 谷 市	49.18	19,003	52,593
大 和 町	225.49	11,679	28,660
大 郷 町	82.01	2,769	8,204
大 衡 村	60.32	2,049	5,846
計	417.00	35,500	95,303



消 防 本 部 ・ 署 所 の 所 在 地

所 属	所 在 地	電 話 番 号	
消 防 本 部	黒川郡大和町吉田字北谷地12番地	022 (345) 4161	
黒 川 消 防 署	黒川郡大和町吉田字北谷地12番地	022 (345) 4161	
	大郷出張所	黒川郡大郷町中村字東要害11番地の6	022 (359) 3150
	大衡出張所	黒川郡大衡村大衡字一本木21番地20	022 (345) 0900
富 谷 消 防 署	富谷市富ヶ丘一丁目20番1号	022 (358) 5474	

1. 黒川消防の沿革

- 昭和46年 10月 14日 黒川地区消防事務組合設立
- 昭和47年 3月 7日 消防職員定数「37名」に制定
4月 15日 政令指定を受ける
9月 1日 消防本部設置（大和町役場内）
9月 20日 職員1名採用
12月 1日 職員8名採用
- 昭和48年 1月 8日 職員1名採用
3月 9日 消防ポンプ車1台購入
3月 16日 職員2名採用
3月 20日 職員8名採用
3月 20日 消防専用無線開局
3月 29日 指令車1台、救急自動車1台購入
3月 31日 消防庁舎落成開庁、消防業務開始
（指令車1台、ポンプ車1台、救急車1台、職員20名）
消防長に管理者大和町長浅野多一郎氏就任
4月 1日 職員2名採用
4月 1日 消防相互応援協定を締結（1市5町2組合1団体）
8月 1日 救急業務開始、救急専用無線開局、職員10名採用
11月 20日 水槽付きポンプ自動車1台購入配置
12月 1日 職員2名採用
- 昭和49年 3月 30日 救急指令装置新設工事落成
4月 1日 職員2名採用総員36名
- 昭和50年 4月 1日 職員2名採用、消防特別救助隊発足（11名）
9月 5日 消防職員定数「44名」に改正
- 昭和51年 4月 1日 職員7名採用総員44名
4月 11日 黒川消防発足3周年記念式典挙行
5月 13日 消防連絡車1台、小型動力ポンプ1台購入配置
9月 6日 消防職員定数「51名」に改正
9月 18日 日本損害保険協会より消防ポンプ車1台寄贈を受ける
10月 20日 黒川消防署大郷出張所落成開庁
（ポンプ車1台、職員6名）
12月 9日 東北自動車道供用に伴う救急業務開始
- 昭和52年 4月 1日 職員6名採用総員50名
6月 25日 消防指令車を購入（更新）本部に設置
7月 15日 整備庫工事完成
12月 20日 救助工作車1台購入本署に配置
12月 20日 訓練塔工事完成
- 昭和53年 2月 10日 消防職員定数「60名」に改正
4月 1日 職員4名採用総員54名
4月 23日 黒川消防発足5周年記念式典挙行
5月 10日 消防査察車1台購入本署に配置
5月 30日 補助訓練塔工事完成
6月 9日 消防ポンプ自動車1台購入本署に配置
6月 12日 宮城県沖地震（マグニチュード7.4）
11月 30日 屋内洗車場工事完成
- 昭和54年 2月 1日 黒川消防音楽隊発足（22名）
2月 1日 消防本部旗制定
2月 13日 消防職員定数「70名」に改正
4月 1日 消防長に菅原敏夫氏就任、職員4名採用

- 昭和54年 5月 7日 消防広報車1台購入本署に配置
6月 30日 消防ポンプ自動車1台購入本署に配置
11月 30日 消防庁舎北側増築工事完成
- 昭和55年 4月 1日 職員5名採用総員63名
5月 25日 高田訓練場整備完了
9月 2日 水槽付きポンプ自動車1台購入本署に配置
10月 1日 黒川消防署富谷出張所落成開庁
(水槽付きポンプ自動車1台、職員6名)
11月 5日 日本防火協会より防火広報車1台寄贈を受け本署に配置
- 昭和56年 4月 1日 職員3名採用総員65名
4月 28日 消防連絡車1台購入大郷出張所に配置
4月 30日 ポンプ積載車1台購入本署に配置
- 昭和57年 2月 1日 救急車1台購入(更新)本署に配置
4月 1日 職員2名採用総員67名
4月 3日 職員1名採用総員68名
- 昭和58年 1月 31日 消防ポンプ自動車1台購入(更新)本署に配置
4月 1日 職員3名採用総員71名
4月 27日 仙台北部で大規模な林野火災発生
～ 28日 当管内富谷町、大和町で防ぎよ活動
8月 30日 日本消防協会より広報車1台寄贈を受け本部に配置
9月 6日 救急業務用地図等検索装置設置
10月 17日 管理者に大和町長木幡恒雄氏就任
11月 8日 黒川消防発足10周年記念式典挙行
- 昭和59年 9月 24日 日本消防協会より救急車1台寄贈(更新)を受け本署に配置
- 昭和60年 9月 23日 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈を受け富谷出張所に配置
- 昭和61年 4月 1日 消防長に村元敏一氏就任
8月 5日 台風10号豪雨洪水被害甚大
- 昭和62年 11月 1日 東北自動車道宮城県消防相互応援協定を締結(3市4組合)
- 昭和63年 2月 25日 宮城県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈(更新)を受け
本署に配置
3月 7日 黒川消防発足15周年記念式典挙行
- 平成元年 9月 11日 水槽付きポンプ自動車購入(更新)富谷出張所に配置
消防職員定数「75名」に改正
11月 15日 消防査察車購入(更新)本署に配置
- 平成2年 7月 11日 大和町富谷土地整理組合より消防ポンプ自動車1台寄贈(更新)を受け
本署に配置
9月 12日 日本消防協会より救急車1台寄贈(更新)を受け本署に配置
(旧救急車を調査車として本署に配置)
9月 28日 日本防火協会より防火広報車1台寄贈(更新)を受け本部に配置
12月 20日 消防資材搬送車を購入本署に配置
- 平成3年 4月 1日 一部事務組合複合化により黒川地域行政事務組合設立
4月 1日 職員2名黒川地域行政事務組合総務課に異動
4月 1日 職員3名採用総員71名
7月 12日 消防指令車購入(更新)
7月 17日 積載2号車購入(更新)大郷出張所に配置

- 平成4年 1月 31日 宮城県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈（更新）を受け本署に配置
旧車両を指揮車として本署に配置
4月 1日 職員1名採用総員71名
4月 1日 宮城県広域消防相互応援協定を締結（県内12消防本部）
4月 1日 宮城県広域航空消防相互応援協定を締結（県・県内12消防本部）
10月 29日 日本損害保険協会より化学消防ポンプ自動車1台寄贈を受け本署に配置
- 平成5年 4月 1日 消防緊急通信指令施設更新
4月 1日 職員6名採用総員75名
5月 27日 本部庁舎二階改修工事
6月 3日 消防緊急通信指令施設開設記念式及び祝賀会（黒川消防発足20年）
7月 14日 査察1号車購入（更新）
8月 24日 日本消防協会より携帯無線機5基寄贈を受ける
9月 30日 消防職員定数「105名」に改正
11月 19日 普通ポンプ自動車購入（黒消1号車・更新）大郷出張所配置
- 平成6年 4月 1日 職員12名採用総員86名
5月 18日 救急救命士第1期生誕生
- 平成7年 2月 7日 高規格救急自動車1台購入（救急3・更新）
2月 24日 県防災ヘリコプターを使用した大規模特殊災害時における広域航空消防応援に関する協定を締結（県・県内12消防本部）
3月 28日 大衡出張所庁舎落成式(防災ヘリコプター臨時ヘリポート併設)
4月 1日 大衡出張所業務開始
4月 1日 職員5名採用総員91名
10月 11日 大型水槽1号車購入（増強）
- 平成8年 4月 1日 職員6名採用総員97名
10月 30日 補助訓練塔移設
- 平成9年 4月 1日 消防長に菅野裕氏就任
4月 1日 職員3名採用総員100名
12月 22日 高規格救急自動車1台購入（救急1・更新）
- 平成10年 3月 18日 連絡1号車購入 富谷出張所配置
3月 30日 富谷出張所移転新築庁舎落成式
4月 1日 富谷出張所新庁舎にて業務開始、救急1号車を配置し救急業務開始
- 平成11年 1月 12日 救助工作車購入（更新）本署に配置
2月 12日 消防広報車購入（更新）本署に配置
4月 1日 消防長に三野宮定夫氏就任
4月 1日 職員3名採用総員102名
9月 9日 第一回救急標語コンクール実施（表彰式）
12月 14日 水槽付きポンプ自動車購入（更新）富谷出張所に配置
- 平成12年 4月 1日 職員3名採用総員104名
10月 1日 黒川郡東部地域救急支援活動開始
12月 20日 高規格救急自動車購入（更新）
- 平成13年 4月 1日 消防職員定数「113名」に改正
4月 1日 職員3名採用総員106名
5月 29日 消防連絡車購入（増強）本部に配置
- 平成14年 4月 1日 職員2名採用総員108名
8月 21日 2002年W杯サッカー 消防・救急警戒により消防庁長官褒状受賞
12月 16日 指揮1号車購入（更新）本署に配置

- 平成15年 1月 10日 水難救助用ゴムボート・ウエットスーツ配備
 3月 30日 大郷出張所移転新築庁舎開所式
 4月 1日 消防長に磯部利彦氏就任
 4月 1日 大郷出張所新庁舎にて業務開始、救急3号車を配置し救急業務開始
 4月 1日 職員1名採用総員108名
 7月 26日 宮城県北部連続地震発生（黒消水槽1号車隊2名、給水の為大崎地域へ応援出場）
 9月 10日 黒川消防発足30周年記念誌発行
- 平成16年 1月 5日 県内広域消防応援出動（平成15年7月26日からの宮城県北部連続地震時）に伴い、平成15年度消防庁長官褒状受賞
 3月 25日 高規格救急自動車1台購入（救急6号車） 大郷出張所に配置
 4月 1日 職員2名採用総員110名
 4月 1日 消防組織法に基づく緊急消防援助隊の登録
 10月 25日 黒川消防本部第1号気管挿管認定救命士誕生
- 平成17年 4月 1日 消防長に三野宮定夫氏就任
 4月 1日 危機管理担当部署を新たに設置
- 平成18年 1月 30日 本部庁舎耐震補強工事完了
 3月 3日 富谷町上桜木土地区画整理組合より消防ポンプ車（CD-I）及び高規格救急車寄贈される
 4月 1日 職員2名採用総員111名
 4月 1日 機構改革により、通信指令室を指令課に、総務課と警防課を統合して消防課とし、新たな組織体制
 10月 14日 大和エコーライオンズクラブより、AED寄贈される
 12月 22日 防衛庁補助による水槽付消防ポンプ車（黒消2号車）本署に配置
- 平成19年 4月 1日 消防長に田村雄二氏就任
 4月 1日 職員1名採用総員111名
 4月 1日 富谷出張所職員数を増員し、黒川南部の警防態勢を強化
 12月 1日 広報車（広報2号車）更新し、本部に配置
- 平成20年 4月 1日 消防長に佐藤勝志氏就任
 4月 1日 職員5名採用総員113名
 6月 14日 岩手・宮城内陸地震発生・派遣活動期間9日間・延べ人員52名
 延べ車両27台
- 平成21年 4月 1日 機構改革により、消防本部消防課を総務課と警防課に改める
 4月 1日 職員3名採用総員113名（出向職員2名除く）
 12月 16日 高規格救急車（救急3号車）更新し、本署に配置
 12月 25日 1月0日
- 平成22年 1月 27日 消防本部通信指令室の自動出場指令装置・地図検索装置を部分更新し、出場指令書の伝送装置を新設
 4月 1日 消防長に大友司郎氏就任
 4月 1日 職員6名採用総員118名（組合出向職員2名除く）
- 平成23年 1月 7日 消防ポンプ車（黒消1号車）を更新し、大郷出張所に配置
 高規格救急車（黒消救急2号車）を更新し、本署に配置
 3月 11日 東北地方太平洋沖地震（マグニチュード9.0）の発生に伴い、震災非常配備態勢を発令、消防本部内に警防本部を設置し震災対応（県広域消防相互応援に伴う支援活動・・・石巻、塩釜消防本部）
 4月 1日 職員7名採用総員123名
 11月 9日 東日本大震災に伴う、県内広域消防応援出動により総務大臣褒状受賞

- 平成24年 4月 1日 職員9名採用総員131名
 4月 1日 大衡出張所8名増員、救急2号車を配置し救急業務開始
 4月 1日 富谷出張所3名増員し、黒川南部の警防態勢を強化
 4月 27日 大衡出張所増築及び改修工事完了
 8月 9日 資材搬送車（黒消積載2）を更新し、大郷出張所に配置
- 平成25年 3月 4日 全国共済農業協同組合連合会宮城県本部より高規格救急車1台寄贈される
 4月 1日 消防長に大友秀也氏就任
 4月 1日 職員9名採用総員135名
 4月 1日 高機能消防指令センター運用開始
 4月 1日 消防救急無線施設・設備（デジタル方式）運用開始
 10月 17日 黒川消防が訓練指導に当たった大和町女性消防操法隊が第21回全国大会において優勝し、日本一となる
- 平成26年 3月 14日 本部庁舎西側を整備、新たに屋内貯蔵所を設置
 3月 25日 本部庁舎耐震補強工事完了
 4月 1日 消防長に恵津春芳氏就任
 4月 1日 職員8名採用総員135名
- 平成27年 3月 1日 化学車（大衡化学1号車）を更新し、大衡出張所に配置
 3月 3日 本部庁舎西側に会議室建設
 4月 1日 職員5名採用総員135名
 7月 1日 指令車（黒消指令1号車）を更新し、本部に配置
 9月 11日 平成27年9月関東・東北豪雨により、県内に「大雨特別警報」が発令され消防本部内に警防本部を設置し、水害対策にあたる
 11月 25日 一般財団法人救急振興財団より救急普及啓発広報車1台寄贈される
 12月 22日 仙台市消防局より高規格救急車両譲渡、本署に配置
- 平成28年 2月 3日 指令車（黒消指令1号車）を更新し、本部に配置
 3月 7日 水槽付きポンプ自動車（黒消タンク2号車）を更新し、大衡出張所に配置
 3月 7日 化学車（大衡化学1号車）を黒川消防署に配置
 3月 23日 連絡車（黒消連絡2号車）を更新し、本部に配置
 4月 1日 消防長に千葉清氏就任
 4月 1日 消防職員定数「145名」に改正
 4月 1日 職員7名採用総員140名
 4月 1日 高規格救急車両を更新し、富谷出張所に配置
 4月 1日 富谷出張所3名増員、救急車2台運用開始
 7月 15日 大郷搬送1号車を更新し、大郷出張所に配置
 8月 31日 平成28年台風第10号により、9月9日まで岩手県へ緊急消防援助隊派遣
 10月 1日 黒川消防署富谷出張所が昇格し、富谷消防署開署
 10月 10日 富谷町が市制移行し、富谷市となる
 11月 1日 黒消連絡1号車を更新し、本部に配置
- 平成29年 1月 23日 株式会社タガ・アート、浜ロウレタン株式会社より水難救助用ボートの無償貸与を受け、富谷消防署に配置
 2月 8日 平成28年台風第10号に伴う緊急消防援助隊派遣により、消防庁長官賞状授与
 2月 22日 一般社団法人日本損害保険協会より高規格救急車両1台寄贈される
 4月 1日 職員6名採用総員145名
 4月 1日 富谷消防署6名増員、救急隊2隊を専従化
 9月 1日 富谷消防署に富谷指揮1号車を新規配置し運用開始
- 平成30年 3月 31日 水槽付きポンプ自動車（富谷タンク1号車）を更新し、富谷消防署に配置
 4月 1日 消防長に坪子一夫氏就任
 4月 1日 職員7名採用総員145名

2. 消防本部 ・ 署所の概要

消防本部・黒川消防署（併設）

所在地 黒川郡大和町吉田字
北谷地12番地

竣工年月日 昭48. 3. 31

構造 鉄筋コンクリート →

延べ面積 1, 206. 68㎡

TEL 022-345-4161

FAX 022-345-0012



黒川消防署大郷出張所

所在地 黒川郡大郷町中村字
東要害11番地の6

竣工年月日 平15. 3. 30

← 構造 鉄筋コンクリート

延べ面積 895. 36㎡

TEL 022-359-3150

FAX 022-359-3197

黒川消防署大衡出張所

所在地 黒川郡大衡村大衡字
一本木21番20

竣工年月日 平7. 3. 28

増築年月日 平24. 4. 27

構造 鉄筋コンクリート →

延べ面積 692. 95㎡（41. 27増築）

TEL 022-345-0900（FAX兼用）



富谷消防署

所在地 富谷市富ヶ丘一丁目
20番1号

竣工年月日 平10. 3. 30

← 構造 鉄筋コンクリート

延べ面積 887. 01㎡

TEL 022-358-5474（FAX兼用）

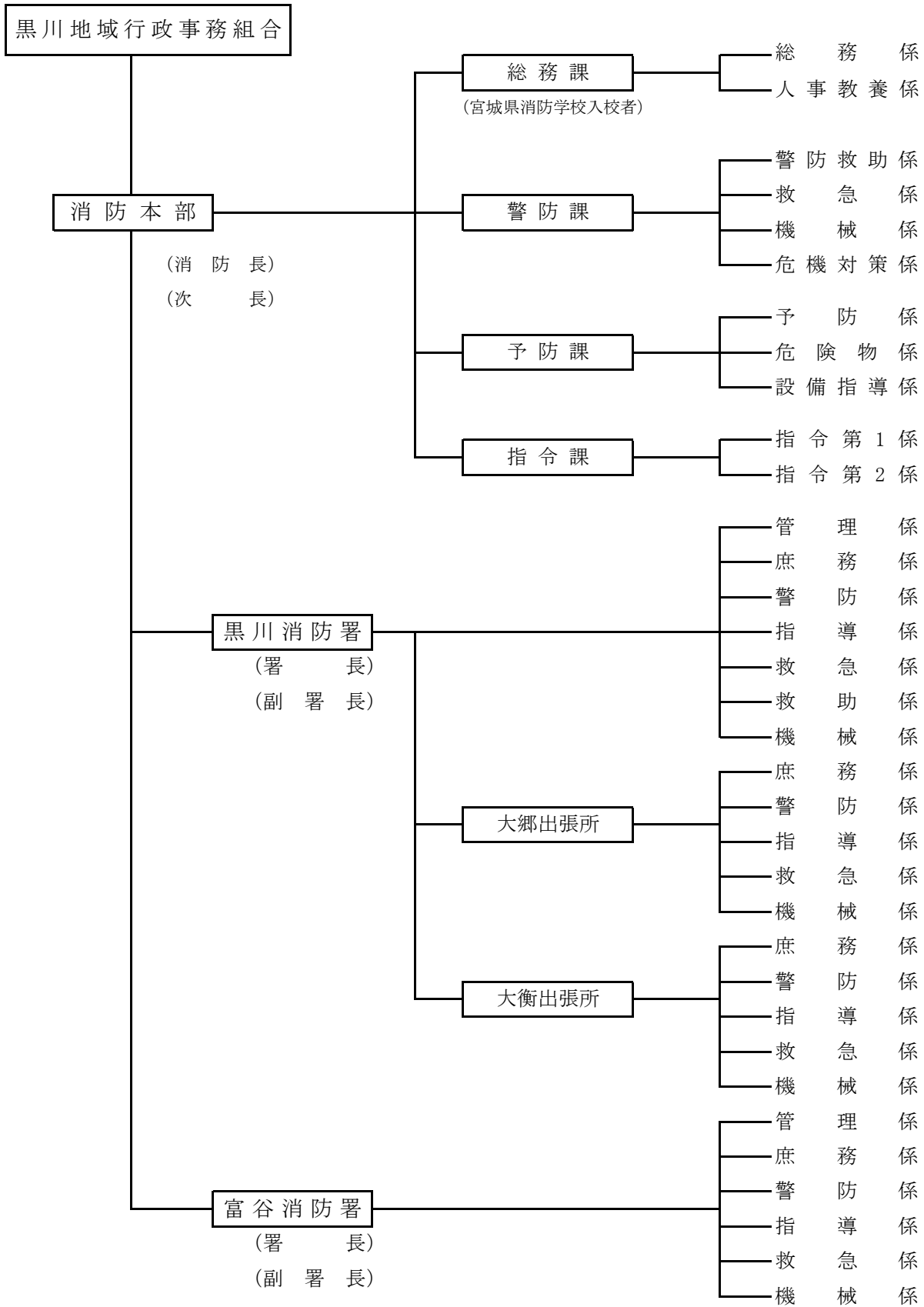
3. 平成30年度消防予算（当初）

（単位：千円）

款・項・目	節	当初予算額		比較増減費
		平成30年度	平成29年度	
5款. 消防費		1,408,350	1,281,558	126,792
1項. 消防費		1,408,350	1,281,558	126,792
1目. 常備消防費		1,133,044	1,155,543	△ 22,499
	2. 給料	461,917	466,911	△ 4,994
	3. 職員手当等	398,817	422,647	△ 23,830
	4. 共済費	167,051	167,292	△ 241
	8. 報償費	29	29	0
	9. 旅費	4,252	4,021	231
	10. 交際費	50	50	0
	11. 需用費	36,513	35,728	785
	12. 役務費	17,034	16,742	292
	13. 委託料	3,685	3,430	255
	14. 使用料及び賃借料	2,565	2,562	3
	15. 工事請負費	21,552	15,373	6,179
	16. 原材料費	150	150	0
	18. 備品購入費	10,550	12,314	△ 1,764
	19. 負担金補助及び交付金	8,837	8,280	557
	23. 償還金利子及び割引料	42	14	28
2目. 消防施設費		275,306	126,015	149,291
	11. 需用費	19,940	13,773	6,167
	12. 役務費	1,649	1,544	105
	13. 委託料	40,417	51,201	△ 10,784
	14. 使用料	6,390	0	6,390
	18. 備品購入費	60,640	58,650	1,990
	23. 償還金	145,320	0	145,320
	27. 公課費	950	847	103

4. 組織機構

平成30年4月1日現在



5. 消防力の現勢

(1) 人 員

消防職員・所属・階級別職員数

平成30年4月1日現在

区 分	合 計	消 防 吏 員								消 防 以 外 の 職 員
		小 計	消 防 監	司 令 長	司 消 防 令	司 消 防 補 令	士 消 防 長	副 消 防 長	消 防 士	
消 防 本 部	31	31	1	5	9	3	3	2	8	
黒 川 消 防 署	39	39		2	9	7	6	10	5	
大 郷 出 張 所	19	19		1	5	3	2	5	3	
大 衡 出 張 所	19	19		1	2	7	2	2	5	
富 谷 消 防 署	37	37		2	5	8	4	9	9	
小 計	114	114		6	21	25	14	26	22	
合 計	145	145	1	11	30	28	17	28	30	

(2) 消防車両 28台

消防本部

5台

- 指 令 車 1
- 広 報 車 1
- 連 絡 車 2
- 救急普及広報啓発車 1

富谷消防署

7台

- ポ ン プ 車 1
- 水 槽 付 ポ ン プ 車 1
- 大 型 水 槽 車 1
- 高 規 格 救 急 車 2
- 連 絡 車 1
- 指 揮 車 1

黒川消防署

9台

- 指 揮 車 1
- ポ ン プ 車 1
- 水 槽 付 ポ ン プ 車 1
- 化 学 車 1
- 救 助 工 作 車 1
- 高 規 格 救 急 車 1
- 救 急 指 導 車 1
- 資 材 搬 送 車 2

大郷出張所

4台

- ポ ン プ 車 1
- 高 規 格 救 急 車 1
- 資 材 搬 送 車 1
- 連 絡 車 1

大衡出張所

3台

- 水 槽 付 ポ ン プ 車 1
- 高 規 格 救 急 車 1
- 連 絡 車 1

6. 消防力の整備指針と現有消防力との比較

平成30年4月1日現在

区 分	指針消防力	現有消防力	過 不 足	充 足 率
署 所 の 数	5	4	△ 1	80.0
ポ ン プ 車	8	6	△ 2	75.0
化 学 車	1	1	0	100.0
は し ご 車	1	0	△ 1	0.0
救 助 工 作 車	1	1	0	100.0
救 急 車	6	5	△ 1	83.3
人 員	273	145	△ 128	53.1

7. 消防職員の年齢構成

平成30年4月1日現在

区 分	計	消 防 吏 員							以 消 外 防 の 職 吏 員 員
		消 防 監	司 消 令 長 防	司 消 令 防	司 消 令 補 防	士 消 長 防	副 消 士 長 防	消 防 士	
人 員	145	1	11	30	28	17	28	30	
平 均 年 齢	35.3	59.0	57.2	47.6	39.4	31.4	25.8	21.4	
18 歳 ～ 25 歳	43						14	29	
26 歳 ～ 30 歳	25					10	14	1	
31 歳 ～ 35 歳	9				5	4			
36 歳 ～ 40 歳	12				9	3			
41 歳 ～ 45 歳	32			19	13				
46 歳 ～ 50 歳	1				1				
51 歳 ～ 55 歳	8		2	6					
56 歳 ～ 60 歳	15	1	9	5					

8. 消防職員の勤続年数

平成30年4月1日現在

区分	計	消防吏員							消防 外の 職員
		消防 監	消防 令 長	消防 令 防	消防 令 補 防	消防 士 長 防	消防 副 士 長 防	消防 士	
人員	145	1	11	30	28	17	28	30	
平均勤続年数	16.0	41.0	39.2	29.3	19.9	11.2	6.1	1.9	
5年未満	31						1	30	
5年以上 10年未満	34					7	27		
10年以上 15年未満	10				4	6			
15年以上 20年未満	11				7	4			
20年以上 25年未満	26			11	15				
25年以上 30年未満	10			8	2				
30年以上 35年未満									
35年以上 40年未満	14		6	8					
40年以上	9	1	5	3					

9. 消防職員の定数・現員数及び配置状況

平成30年4月1日現在

区 分	計	消 防 吏 員							以 外 防 職 の 吏 員 員	
		消 防 監	司 令 長 防	司 令 防	司 令 補 防	士 長 防	副 士 長 防	消 防 士		
定 数	145	1	11	133						
現 員 数	145	1	11	30	28	17	28	30		
消 防 本 部 計	31 (8)	1	5	9	3 (1)	3	2	8 (7)		
消 防 本 部	消 防 長	1	1							
	次 長・危 機 管 理 監	1		1						
	総 務 課	11 (8)		1	1	1 (1)		1	7 (7)	
	警 防 課	4		1	3					
	予 防 課	5		1	3		1			
	指 令 課	9		1	2	2	2	1	1	
消 防 署 計	114		6	21	25	14	26	22		
消 防 署	黒 川 消 防 署	39		2	9	8	5	10	5	
	大 郷 出 張 所	19		1	5	3	2	5	3	
	大 衡 出 張 所	19		1	2	7	2	2	5	
	富 谷 消 防 署	37		2	5	7	5	9	9	

※ () 内は、宮城県消防学校初任総合教育入校・宮城県派遣

10. 消防職員技術資格状況

平成30年4月1日現在

階 級 別 免 許 ・ 資 格 種 類	計	消 防 吏 員							
		消 防 監	司 消 令 長 防	司 消 令 防	司 消 令 補 防	士 消 長 防	副 消 士 長 防	消 防 士	
救 急 救 命 士	31		5	7	11	6	2		
大 型 自 動 車 (各 種)	79	1	4	26	24	11	13		
中 型 自 動 車 (各 種)	115	1	11	30	28	16	22	7	
普 通 自 動 車 (各 種)	57					6	27	24	
大 型 特 殊 自 動 車 (各 種)	10			4	4	1	1		
け ん 引 (各 種)	5			2	2	1			
自 動 二 輪 車 (各 種)	63	1	8	17	13	10	10	4	
危 険 物 取 扱 者	甲 種	1			1				
	乙 種	111		2	21	26	16	28	18
	丙 種	21	1	11	9				
消 防 設 備 士 (各 種)	16	1	6	6	1	1	1		
消 防 設 備 点 検 資 格 者 (各 種)	0								
陸 上 特 殊 無 線 技 士 (各 級)	129	1	7	26	27	17	28	23	
ボ イ ラ ー 技 士	2		1	1					
防 災 士	4			2	2				
毒 劇 物 取 扱 者	2		1	1					
小 型 船 舶 操 縦 士 (2 級 以 上)	18		1	4	5	4	4		
小 型 移 動 式 ク レ ー ン	42		3	15	9	8	7		
玉 掛 け	42		3	15	9	8	7		
ガ ス 溶 接	9			5		2	1	1	
ア ー ク 溶 接	5			1	1	1		2	
J P T E C	55		5	11	15	12	11	1	
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者	4			2	2				
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 特 別 講 習	4			3	1				
衛 生 管 理 者	5	1	2	2					
潜 水 士	5			1	2	1	1		
予 防 技 術 資 格 (検 定 合 格 者 含 む)	29		4	9	10	4	2		

※ 各種免許種類にあつては資格数

11. 消防職員の学校教育派遣状況

			29 年度	28 年度	27 年度	26 年度	25 年度	24 年度	23 年度	22 年度	21 年度	20 年度	累 計	
消防 大学 校	総合 教育	幹 部 科						1	1				2	
		上級幹部科												0
	専科 教育	警 防 科	1			1						1		3
		救 助 科												0
		救 急 科												0
		予 防 科			1									1
		危 険 物 科									1			1
	実務 講習	火災調査科		1										1
		緊急消防 援助隊教育課												0
			危機管理・ 防災教育課											0
宮城 県消 防学 校	初任総合教育		5	7	5	8	9	9	7	6	3	5	64	
	専科 教育	救 急 科												0
		警 防 科		2		2			2			2		8
		特殊災害科	2		2				2				2	8
		予 防 査 察	2		2	2					2			8
		危 険 物 科		2		2					2			6
		火災調査科	2	2	2		2				2		2	12
	幹部 教育	初級幹部科		2	2	2			2			1		9
		中級幹部科	2		2			2			2		1	9
		上級幹部科	1		1				1			1		4
	特別 教育	気管挿管 講習									3	2	2	7
		薬剤投与 講習									2	2	2	6
		救急救命士 再教育講習	1	1	1	1	2	2						8
		救急救命士 処置拡大講習	4	4	4	1								13
		救急隊員 再教育講習												0
		救助隊長 教育講習		1										1
		救助隊員 再教育講習	1											1
		指揮隊長 教育講習	1	1	1									3
		消防業務マ ネジメント 講習												0
救急救命東京研修所		2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	16	
救急救命 九州研 修所	薬剤投与 追加講習									1	1	1	3	
	指導救命士 養成研修				1								1	